

# 広島県の広域的な防災拠点としての役割を担います

～「道の駅」は第3ステージへ【防災道の駅「西条のん太の酒蔵」】のご紹介～

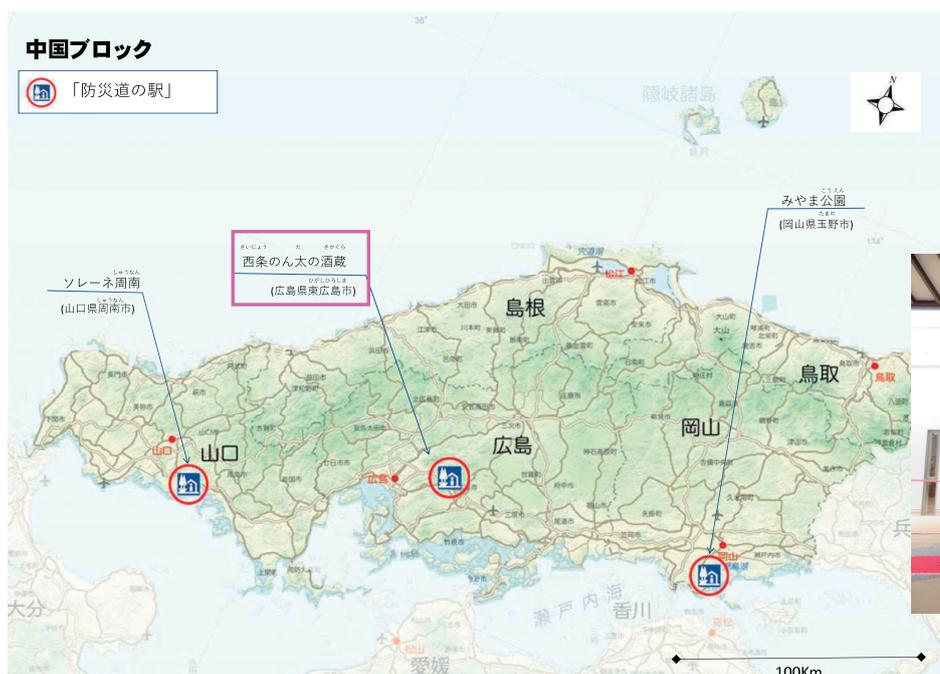
中国地方整備局 広島国道事務所

## 1. はじめに

「道の駅」は、平成5年に登録制度が始まり、現在全国で1,194駅があり、中国地方で108駅、広島県内で21駅が登録されています。

国土交通省としては、令和元年秋の新「道の駅」のあり方検討会の提言を受け、「道の駅」を世界ブランドとするために「道の駅第3ステージ」として多言語対応やキャッシュレスの導入とともに、地域防災及び広域防災の強化のため、「防災道の駅」を選定し、全国の安心拠点として整備を進めているところです。

今回は、令和4年7月15日に開業したばかりの「道の駅西条のん太の酒蔵」についてご紹介します。



テープカットの様子



施設全景



賑わいの様子

## 2. 防災道の駅について

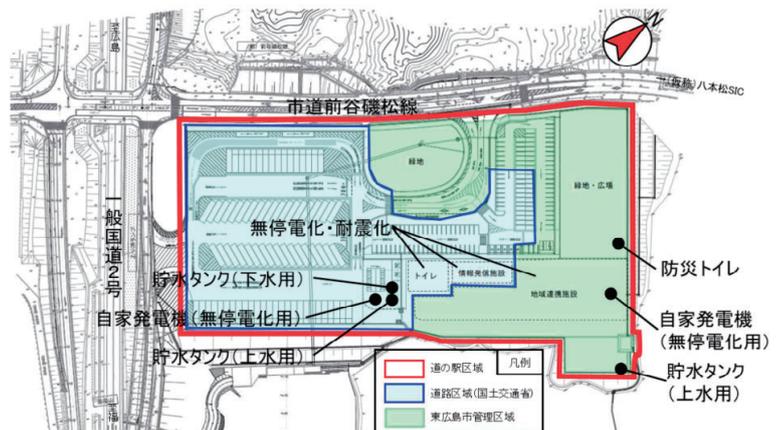
「防災道の駅」は、近年頻発化・激甚化する自然災害の状況等を踏まえ、災害時に広域的な復旧・復興の活動拠点として、昨年6月に全国で39駅、中国管内では3駅が選定され、広島県では初となる「防災道の駅」として「西条のん太の酒蔵」が選定されました。

また、「広島県地域防災計画」では、被災地における災害対応活動を迅速かつ効率的に実施するため、災害発生時に必要に応じて救援物資輸送拠点及び救援部隊集結拠点を開設することになっており、本道の駅は警察及び自衛隊の救援部隊集結拠点として広島県中央部地域への部隊派遣の広域防災拠点として指定をされています。

主な防災設備としては、非常用電源、貯水タンク、防災倉庫、防災トイレなど、道路利用者や近隣住民の一時避難も含め、広域的な復旧支援の中継拠点となる機能を有しています。

| 「防災道の駅」について  |   | 別紙1 |
|--|---|-----|
| <p><b>新「道の駅」のあり方検討会 提言</b><br/>(令和元年11月18日)</p> <p><b>「道の駅」第3ステージ</b><br/>(2020年～2025年)<br/>《地方創生・観光を加速する拠点》</p> <p>「2025年」に目指す3つの姿</p> <p>1. 「道の駅」を世界ブランドへ<br/>○多言語対応やキャッシュレスの導入<br/>○海外や観光関係団体との連携</p> <p>2. 新「防災道の駅」が全国の安心拠点到<br/>○広域防災<br/>「防災道の駅」の選定・支援<br/>○地域防災<br/>BCPの策定を促進</p> <p>3. あらゆる世代が活躍する舞台となる<br/>地域センターに<br/>○子育て応援<br/>○地域活性化プロジェクト<br/>○大学等の連携企画の実施</p> | <p><b>「防災道の駅」制度</b></p> <p>都道府県の地域防災計画等で、<b>広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅</b>について、「防災道の駅」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための<b>重点的な支援を実施</b></p> <p><b>広域的な防災拠点機能を持つ道の駅</b><br/>・自衛隊、警察、消防、トラックフォース等の救援活動の拠点<br/>・緊急物資等の基地機能<br/>・復旧・復興活動の拠点等</p> <p><b>重点的な支援</b><br/>(最大5年)<br/>ハード面<br/>・防災機能の整備・強化を交付金で重点支援<br/>ソフト面<br/>・BCPの策定や防災訓練について国のノウハウを活用した支援</p> <p><b>地域の防災拠点機能を持つ道の駅</b><br/>・地域の一時避難所等</p> <p>その他の道の駅</p> <p>全体1,187駅 (令和3.3.31時点)</p> <p>広域的な防災拠点 (イメージ)</p> |     |

防災道の駅 (概要)



防災施設平面

### 3. 「西条のん太の酒蔵」の取り組みの経緯

東広島市のゲートウェイとして、市内の酒蔵などの観光資源に誘導し交流を促進するとともに、フードコートや農産物の加工室や直売所を設けることにより、地元特産品の魅力を発信・提供することで賑わいの創出や消費拡大により地域活力の向上を目的としています。

道の駅の名称は、多くの応募の中からアンケート調査等により意見の多かった東広島市のマスコットキャラクターである「のん太」を取り入れ、整備する建物の意匠性及び本市の代表的な景観を表現している「酒蔵」と合わせ「のん太の酒蔵」の名称が選定されました。

施設の特徴としては、子育て世代が快適に安心して過ごせる憩いと賑わいの場として「こども向け屋内遊戯場」を建物内に併設し、子育てサークルと連携した体験講座の実施や子育てイベントなどに活用されます。その他、多目的展示室、屋根付き広場、授乳室、ドッグラン、シャワー施設、トイレ棟、情報発信施設、EV 充電設備を備えており、地方創生の新たな拠点として期待されています。

施設の完成前から地元の皆様の期待する声が多く、開業前7月12～14日までの3日間で、東広島市内に在住の方を招待したプレオープンが開催されました。このエリアに中国四国地方最大級の道の駅ができることあって、プレオープンから連日、大賑わいでした。



新しく誕生する道の駅西条のん太の酒蔵



東広島市の風景に馴染む瓦吹き切妻屋根



酒蔵を模したなまこ壁



レンガ造りの煙突は道の駅のランドマーク

#### 施設イメージ紹介



東広島市マスコットキャラクター「のん太」です！



情報発信施設



屋内遊戯場

## 4. 今後の取り組み

令和2年10月の「(一社)全国道の駅連絡会」による全国の道の駅を対象とした経営実態調査では、「新型コロナウイルス感染拡大対策に伴う外出自粛や【3密】回避など、他の飲食、物販施設同様に厳しい経営環境であったが、ようやく回復の途に就いてきた」、「地域の「防災拠点」であるとともに地域社会の賑わいの場としての使命を有しており、今後は、DX（デジタルトランスフォーメーション）改革や地域社会課題への備えを強化し、地域の「生活拠点」として発展していく経営姿勢が必要」との調査結果がありました。

今後の新型コロナウイルスの感染状況の見通しが不透明であり、With コロナの生活が模索されていくなか、道の駅の使命や役割の重要性が改めて再認識され、賑わいの創出や地域活力の向上が図れるよう持続可能な支援を続けていければと考えています。

## 5. おわりに

兵庫の灘、京都の伏見と並ぶ「日本三大酒処」のひとつ、広島・西条。お酒好きの方は、既にご存じかもしれませんが、銀座「すきやばし次郎」でオバマ元米大統領が召し上がった日本酒（大吟醸ゴールド賀茂鶴）の産地は、本駅のある広島県東広島市西条です。

「是非一度【道の駅 西条のん太の酒蔵】へ、いいところじゃけえ 来てみんさい！」



地元名産の日本酒も豊富な品揃え